

芸術科「音楽Ⅰ」学習指導案

実施日時	平成26年11月11日（火）第5時限
実施学級	機械科第1学年2組 男子41名
実施場所	特別教室棟4階 音楽室
授業者	埼玉県立三郷工業技術高等学校 教諭 加藤 智恵子

1 題材名

「男声合唱を楽しもう」

2 題材について

（1）本校の実態

本校は、工業の専門高校として、機械科2クラス、電子機械科、電気科、情報電子科、情報技術科各1クラスの5学科6クラスからなり、ものづくりに携わる技術者の育成を目指している。また、挨拶がしっかりとでき、資格取得等に意欲的に取り組む生徒も多い。芸術科は選択制ではなく、1年次に生徒全員が音楽Ⅰを履修するが、学科によって、生徒の趣味や雰囲気の特徴があり、特性等に応じ、指導法に工夫が必要である。

（2）生徒の実態

学科や教科の特性によって性格や趣向が多様な生徒が混在する中、これまでの音楽体験が極めて少ないということが全学科に共通している。

中学校時代に受けた音楽の授業においても、「消極的だった」「難しいそうで好きじゃない」などの声が聞かれた。また、「歌を全く歌わなかった」「リコーダーを買わなかった」という生徒さえいる。しかし、話を聞いていくうちに、「下手だと言われたことがあるから歌いたくない」「やっただけど上手くならないから諦めた」などの声も聞かれた。また、単に音楽が好きではないという気持ちからくる消極性ではなく、自信がない、（本人なりの）努力が報われてこなかったことによって、新たな課題に挑戦することや、努力することをやめてしまう生徒が多いことも分かってきた。言い換えれば、充実感を味わうことができれば、生徒が主体的に取り組むことができるようになっていくのではないかと考えた。

そこで、授業では「難しく感じさせないこと」をモットーとし、「やってみたらできた」と感じられるよう留意し、細かな目標設定の下、達成感を味わえるように授業を展開していきたい。

（3）題材設定の意図

本題材は、学習指導要領との関連A 表現（1）歌唱ア「曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって歌うこと。」と、歌唱ウ「様々な表現形態による歌唱の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。」を受けて設定している。

本題材で使用する教材は、NHK連続テレビ小説『ちゅらさん』の主題歌として使用された「Best Friend」である。語りかけるような歌詞やメロディーを含み、また楽曲全体を通して共感しやすい歌詞であるため、生徒が歌詞の意味を考えやすく、楽しんで歌うことができると考えた。これは、3年間を通してクラス替えがなく、同じ学年でありながら共通して取り組める授業や行事が少なく、人間関係が希薄になりがちな現状から、歌詞の背景や曲想、心情をイメージし、全員で取り組む一体感を味わわせたいと考え設定した。

3 題材の目標

（1）曲想と歌詞が表す心情や、それらを生み出している音楽的な特徴に関心をもって主体的に歌う学習に取り組む。

<音楽への関心・意欲・態度>

- (2) リズムや旋律、強弱を理解し、歌詞の内容を感じ取って、自分の思いや意図をもって表現を工夫する。
 <音楽表現の創意工夫>
- (3) 様々な表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽表現をするために必要な言葉の発音や発声、読譜などの技能を身に付けて歌う。
 <音楽表現の技能>

4 教材

「Best Friend」 作詞・作曲 玉城千春

5 評価規準（題材の評価規準及び学習活動における具体的評価規準）

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能
題材の評価規準	① 意欲をもって主体的に取り組もうとしている。 ② 歌詞が表す情景や心情など、曲想を生み出している音楽的な特徴に関心をもって取り組もうとしている。	○音楽を形づくっている要素であるリズムや旋律、強弱を知覚し、それらの働きを生み出す特質や表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うのかについて、思いや意図をもっている。	○歌詞の内容を感じ取り、イメージをもって音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身に付け、創造的に表している。
1	①		
2	①		
3	①		
4	①		
5		○	
6		○	
7	②		
8			○
9	②	○	
10		○	○
11 12	①		○

6 指導と評価の計画（12時間扱い）

時	○学習内容 ・主な学習活動	○指導上の留意点 ☆評価規準
1	○音の聴取① ・元気に歌おう	○歌唱活動に意欲的に取り組もうとしている。 《音楽への関心・意欲・態度①》
2	○音の聴取② ・1番 音取り	○音程を把握し、主体的に歌唱活動に取り組んでいる。 《音楽への関心・意欲・態度①》
3	○音の聴取③ ・2番 音取り	○1番との音程の違いを把握し、歌唱活動に取り組んでいる。 《音楽への関心・意欲・態度①》
4	○音の聴取④ ・下パート 音取り	○音程を把握し、主体的に歌唱活動に取り組んでいる。 《音楽への関心・意欲・態度①》

5	○表現の工夫① ・ 1・2 番 練習	○細部の音程の違いに留意して歌唱活動に取り組んでいる。 《音楽表現の創意工夫》
6	○表現の工夫② ・ 下パート 練習	○音程を把握し、主体的に歌唱活動に取り組んでいる。 《音楽表現の創意工夫》
7	○歌詞の内容や曲想の理解① ・ ハーモニーを作ろう	○各声部の音程を正確に歌おうとしている。 《音楽への関心・意欲・態度②》
8	○歌詞の内容や曲想の理解② ・ ハーモニーを感じよう	○ユニゾン部分と二声部分の違いを意識して取り組んでいる。 《音楽表現の技能》
9	○表現の工夫③ ・ 強弱を意識しよう	○曲に合った強弱を伴奏から感じ取り、表現しようとしている。 ○曲想に合った強弱を意識して取り組んでいる。 《音楽への関心・意欲・態度②》《音楽表現の創意工夫》
10	○表現の工夫④ ・ 歌詞の意味を理解して、心を込めて歌い上げよう	○歌詞の内容を理解し、表現しようと意欲的に取り組んでいる。 ○歌詞の内容や曲想に合った強弱を付け、音楽的に表現している。 《音楽表現の創意工夫》《音楽表現の技能》
11 12	○合唱発表会	○他クラスの合唱を静かに鑑賞する。 ○授業で取り組んできた成果を発表する。 《音楽への意欲・関心・態度①》《音楽表現の技能》

7 本時の学習指導（9／12）

（1）本時の目標

- 歌詞が表す情景や心情など、曲想を生み出している音楽的な特徴に関心をもって取り組む。
- 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを生み出す特質や表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように歌うのかについて、思いや意図をもっている。

（2）展開

	○学習内容・主な学習活動	○指導上の留意点 ☆具体的評価規準（評価方法・手だて）
導入 (12 分)	号令・出席確認 本時の学習内容の説明 合唱体系の確認 リーダーの選出 ○既習曲の復習 ・「校歌」 ・「手紙」 その他 ・『Best Friend』	○本日の学習内容を説明する。 ○これまでの説明に則って整列できているかを確認させる。 ○発声練習を兼ねて元気よく歌い、授業の雰囲気を高めさせる。 ○前時までの復習を兼ねて、歌えているか確認する。
展開 (31 分)	○強弱に留意する場所を考える。	○伴奏に変化を付け、曲想を味わい、強弱を考えさせる。 ☆アー② 歌詞が表す情景や心情など、曲想を生み出している音楽的な特徴に関心をもって取り組もうとしている。＜観察＞ 【「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイント】 歌う姿勢を意識し、口を大きく開けて歌唱活動に取り組んでいる。

	・強弱箇所を楽譜に記入する。 ・強弱を意識しながら練習する。 ○表現を工夫する。	【「十分満足できる」状況（A）と判断するポイント】 歌う姿勢が保持され、表情豊かに歌唱活動に取り組んでいる。 《Cの生徒への支援の手立て》 下を向く、フラフラするなど、歌う姿勢が保てない生徒には、他の生徒の例を示しながら改善に向けた注意を促す。 ○強弱箇所を楽譜に記入させる。 ○強弱箇所を意識させながら繰り返し練習させる。 ☆イ リズムや旋律、強弱を理解し、歌詞の内容を感じ取って自分の思いや意図をもって表現を工夫しているか。＜観察＞ 【「おおむね満足できる」状況（B）と判断するポイント】 指示された強弱を意識して歌おうとしている。 【「十分満足できる」状況（A）と判断するポイント】 歌詞の内容や伴奏から、自分が感じ取った音楽的要素を発言することができ、それらを意識して表現しようとしている。 《Cの生徒への支援の手立て》 楽譜を見ない、大きな声で歌えない生徒には、場所の移動などをさせて、歌唱活動に参加しやすい環境を整える。
まとめ (7分)	○自己評価カードの記入	○本日の感想・反省を自己評価カードに記入させる。